## ○空気調和設備

（3）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

（4）ＦＦ式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について
ＦＦ式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。

① 設計温湿度

| | 外気 | | 屋内 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 一般系統 | | | | | |
| | 温度(DB) | 湿度(RH) | 温度(DB) | 湿度(RH) | 温度(DB) | 湿度(RH) | 温度(DB) | 湿度(RH) |
| 夏期 | 36.9℃ | 46.1% | 28 ℃ | % | ℃ | % | ℃ | % |
| 冬期 | 0.6℃ | 50.7% | 20 ℃ | % | ℃ | % | ℃ | % |

※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。

② 総合試運転調整
※本工事　・別途
風量調整　※する　・しない
水量調整　・する　※しない
騒音の測定　・する　※しない
室内外空気の温湿度の測定　※する　・しない
室内気流及びじんあいの測定　・する　※しない
初期運転状態の記録　※する　・しない
工事対象範囲の既設機器運転状態の記録　・する　※しない

3 煙　道
（1）鉄板厚　（※3．2mm　・4．5mm　）
（2）ばい煙濃度計　※設ける　・設けない
（3）ばいじん量測定口　※設ける（測定口は８０Φとする）・設けない

4 煙　突
※別途　・本工事

5 長方形ダクト
※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
長辺の長さ１５００mm以下　※共板工法　・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法
それ以外の部分　※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製）　・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）

6 円形ダクト
※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製　・ステンレス製）　・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・換気用耐火二層管（大臣認定品）　※フレキシブルダクト（・保温付　・保温無）
(注)１　使用区分は図示による。

7 風量測定口
取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト

8 チャンバー
（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバ及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。
・３００×３００　・３００×５００　※４００×６００　・５５０×７５０
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

9 吹出口及び吸込口ボックス
※亜鉛鉄板製　・グラスウール製

10 ダンパー
（1）防煙ダンパー　復帰方式（※遠隔　・　　）定格入力ＤＣ24Ｖ，0.7Ａ以下
（2）ピストンダンパー　復帰方式（※遠隔　・　　）

⑪ 配管材料
（1）冷温水管　※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（2）冷却水管　※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（3）ブライン管　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（4）冷媒管　※断熱材被覆銅管
（保温厚mm　ガス管　※20以上　・10以上　液管　・20以上　※10以上）
ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。
（5）ドレン管（屋外）　※配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニル管ＶＰ
ドレン管（屋内）　※保温機能付空調用ドレン管（ｴｽﾛﾝACﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟ相当品）
・耐火二層管ＶＰ（ＦＤＰＳ－１）
・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニル管ＶＰ
（消防協議事項：　　）
ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧１ｍを超える配管には使用しない。
（6）油管　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（7）蒸気管　給気管　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
還　管　※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40　・ステンレス鋼管
（8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
※配管用炭素鋼鋼管（白）　・

12 弁　類
規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び共通仕様書による。
また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。

13 温度計
取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共)　※空気調和機の冷温水管(出入口共)
※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンバー、レタンダクト、
外気取入ダクト及びレタンチャンバー
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管　※熱交換器の温水管（出入口）　・

14 圧力計
取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共）
※空気調和機の冷温水管（出入口共）
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管　※熱交換器の温水管（出入口）　・

15 瞬間流量計
瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※１個　・　個）付属とする。
・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形　・着脱形）を設ける。
・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形　・着脱形）を設ける。

16 油面制御装置
※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形　・着脱形）を設ける。
制御盤には（※給油ポンプ制御　※満減油警報　・遠隔警報　・電磁弁制御
・返油ポンプ制御　）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。

※直交流式　・向流型
17 冷却塔
※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置　※自動ブロー装置　・
補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。

## ○換気設備

1 長方形ダクト
※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
長辺の長さ１５００mm以下　※共板工法　・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法
それ以外の部分　※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製）　・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）

2 円形ダクト
※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板　・ステンレス製）　・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・耐火二層換気管又は耐火ＶＰ　※フレキシブルダクト（・保温付　・保温無）
(注)１　使用区分は図示による。

3 風量測定口
取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト

4 チャンバー
（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。
・３００×３００　・３００×５００　※４００×６００　・５５０×７５０
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

5 ダンパー
（2）ピストンダンパー　復帰方式（※遠隔　・　　）

6 多湿箇所の排気ダクト
（1）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火ＶＰ）を使用できる。
※浴室（シャワー室、脱衣室を含む）　・
（2）水抜き管は（※厨房、浴室　※結露水が滞留する部分　・　　）の排気ダクトには設ける

7 保温
下記のダクトの保温を行う。
※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト
仕様はＮ・（ロ）・ＸＩとする。
保温施工範囲は、給気用ＯＡダクトは全て、また、排気用ＥＡダクトは外壁より１ｍの部分とする。
※（※厨房　・湯沸室　・　　）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はｈ・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）

8 試運転調整
風量調整　※する　・しない
風量測定　※する　・しない
騒音の測定　・する　※しない

## ○排煙設備

1 ダクト
※亜鉛鉄板　・

2 排煙口の形式
※天井取付（・スリット形　※スイング形）
・壁取付　（・スリット形　・スイング形）

3 排煙口手動開放装置
開放及び復帰方式　※ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要）

4 排煙風量測定
建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。

## ○自動制御

1 中央監視制御装置
・有り　※無し

2 構成・機能
図示による

3 電気計装用機材
使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線またはＥＭケーブルとする。
屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

## ○衛生器具設備

1 小便器用節水装置
JIS B 2026（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。

2 バリアフリー対応
・小便器　※全部ストール形　・一部ストール形
手すり（・本工事　※別途工事）
・洗面器　※自動水栓（・全部　※一部）　・レバー式水栓（一部）
・シャワー　※サーモスタット式　・ミキシング式
※スライドバー　・フック　※止水機能付節水形シャワーヘッド
・鏡　※６００×８００（耐食鏡）　・傾斜鏡（・照明無　・照明付）

3 衛生器具付属水栓
（1）器具付属止水栓は　※ドライバー式　・ハンドル式
（2）水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。

4 自動水栓類の電源
※ＡＣ１００Ｖ　・乾電池等　・自己発電

5 暖房便座
（1）JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。
（2）機能種別　※温水洗浄　※脱臭　・温風乾燥　・トイレ室内暖房
（3）温水洗浄加熱方式　※瞬間式　・貯湯式
（4）使用流体は、飲料用水道水とする。
（5）リモコン　・ＡＣ１００Ｖ　・乾電池等　※自己発電

6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク
器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。
・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式（※センサー式・タッチスイッチ式）
・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。

7 大便器耐火カバー
※設ける（ピット内は除く）　・設けない

8 掃除流し
※共栓なしとする。　・共栓付とする。

9 排水器具用ゴム継手
※使用できる　・使用できない

10 標記板
大便器、小便器の洗浄水用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。

11 水せっけん入れ
せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。

## ○給水設備

12 擬音装置
・女子用トイレブースに設置する。（※本工事　・別途工事）
・男子用トイレブースに設置する。（※本工事　・別途工事）
・多目的トイレブースに設置する。（※本工事　・別途工事）

13 その他
衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。

1 配管材料
配管材料は　※下記　・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）　による。

| | 施工箇所 | 管種別 |
|---|---|---|
| 上水配管 | 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ<br>・ポリブテン管 |
| | ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管） | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ<br>・ポリブテン管 |
| | 保温をしない屋外露出部 | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ |
| | 地中埋設部（水道直結部分） | ・ＨＩＶＰ　・水道用ステンレス鋼管<br>・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ）<br>・ |
| | 地中埋設部（一般部分） | ※ＨＩＶＰ　・水道用ポリエチレン管<br>・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ）<br>・ |
| | 県営住宅　住戸内 | ※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法） |
| | 便所天井内、ＰＳ内（注５） | ※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上） |
| | 便所天井内 | ※ポリブテン管（１０mm保温付） |
| | 便所空隙壁内又は衛生器具等接続管 | ※ポリブテン管 |
| | その他の部分 | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ<br>・ポリブテン管 |
| 中水配管 | 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ<br>・ポリブテン管 |
| | 湿潤シンダー内配管 | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ<br>・ポリブテン管 |
| | 保温をしない屋外露出部 | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ |
| | 地中埋設部（一般部分） | ※ＨＩＶＰ　・水道用ポリエチレン管<br>・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ）<br>・ |
| | 便所天井内、ＰＳ内（注５） | ※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上） |
| | 便所天井内 | ※ポリブテン管（１０mm保温付） |
| | 便所空隙壁内又は衛生器具等接続管 | ※ポリブテン管 |
| | その他の部分 | ※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ<br>・ポリブテン管 |

(注)１．ＳＵＳとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮　・ﾀﾞﾌﾞﾚｽ ※拡管）便所・廊下流し廻り露出配管（※拡管）とする。
２．ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。
３．飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。
４．建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用桝を設ける。
５．口径２５Ａにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。
６．高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（ＰＥ１００）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。

2 一体形タンク
一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。

3 水栓
※給湯用水栓を除き大きさの呼び１３の水栓は、節水コマとする。
・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。

4 量水器
※親メーター（※貸与品　・　　）　・子メーター（※買い取り・　　）

5 量水器桝
※水道事業者指定品　・標準図ＭＣ形

6 弁類
規格はＪＩＳ又はＪＶとし、水道直結部分は１０Ｋとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び標準仕様書による。

7 水栓柱
・防寒コンクリート水栓柱（１２００Ｌ）　※不凍給水栓

8 建物導入部配管
図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））

9 検針方法
水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。

１０ 水道利用加入金
水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。

１１ 本管取出し
水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。

## ○排水設備

1 配管材料
配管材料は　※下記　・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）　による。

| | 施工箇所 | 管種別 |
|---|---|---|
| 雑排水配管 | 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) | ※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ |
| | 厨房等の温排水 | ※ＳＧＰ（白）・ |
| | 耐火性能を要求される箇所 | ※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ<br>・ＳＧＰ（白） |
| | その他の部分 | ※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ<br>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 |
| 汚水配管 | 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) | ※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ |
| | 耐火性能を要求される場所 | ※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ<br>・排水用ﾉﾝﾀｰﾙｽﾎﾞｷﾝ塗装鋼管 |
| | その他の部分 | ※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ<br>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 |
| 共通 | 地中埋設部 | ※ＲＳ－ＶＵ又はリサイクルＶＵ　・ＶＵ<br>・卵形管（ゴム輪接合）<br>※ＲＥＰ－ＶＵ(軽荷重の場合)<br>・ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ |
| 通気配管 | 耐火性能を要求される箇所 | ※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ<br>・ＳＧＰ（白） |
| | その他の部分 | ※リサイクルＶＰ又はＲＦ－ＶＰ　・ＶＰ<br>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 |

（注）１．リサイクルＶＰ、リサイクルＶＵはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第２編２．１．２．６による。
２．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。
３．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はＹ４５度で行う。

## ○給湯設備

2 洗面器等の排水管
洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップする。

3 満水試験継手
３階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。
※掃除口付きソケット　・満水試験用掃除口ソケット

4 桝の適用
別紙桝表による。

1 配管材料
・露出部　Ｍ銅管　その他　保温付被覆銅管（Ｍ銅管）
・一般配管用ステンレス鋼管
・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）

2 絶縁フランジ
取付部は下記による。
※銅管と銅管及びこれに類する部分
※銅管とステンレス管及びこれに類する部分

3 弁類
（１）規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示による。
（２）ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。

4 ガス瞬間湯沸器
※屋外設置の潜熱回収型　・PS扉内設置の潜熱回収型

5 電気給湯器
飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。

## ○消火設備

1 配管材料
屋内消火栓用　一般配管※ＳＧＰ（白）　・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
地中埋設※ＳＧＰ－ＶＳ　・ＨＩＶＰ
・高密度ポリエチレン管（消火用）
消火用　一般配管※ＳＧＰ（白）　・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
地中埋設※ＳＧＰ－ＶＳ　・ＨＩＶＰ
・高密度ポリエチレン管（消火用）
不活性ガス消火用　※ＳＴＰＧ370（白）Sch40　・ＳＴＰＧ370（白）Sch80

2 建物導入部配管
図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））

## ○ガス設備

1 配管材料
・都市ガス　ガス事業者の供給規定による。埋設配管はＰＥ管を原則とする。
・液化石油ガス　一般配管　※　合成樹脂被覆鋼管　・　ＳＧＰ（白）
地中埋設　※　ＰＥ管　・

2 ガス漏れ警報遮断装置
漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。

3 液化石油ガスの供給権
ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。

## ○厨房設備

1 厨房機器の固定
原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。

2 シンク用水栓
※レバー式泡沫水栓　・自動水栓

3 安全装置の機能の適用
標準仕様書第5編１・６・１の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。

### 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第２条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量　汚泥（油分を含む汚泥）　．　m3
・中間処理施設　市　地内、（株）
・処理方法　・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
２　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第３条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

第４条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２　受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第５条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

2023.4

| 設計年月日 | | 埼玉県 都市整備部 設備課 | 課長 | 副課長 | 主幹 | 主査 | 担当 | 縮尺 | 工事名称 | 図面名 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | FS | 両神ふるさと総合会館２階空気調和設備改修工事 | 機械設備工事特記仕様書（２） | Ｍ－０２ |